

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年4月11日
【四半期会計期間】	第60期第1四半期（自平成24年12月1日至平成25年2月28日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 杉本 篤哉
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第1四半期連結 累計期間	第60期 第1四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成23年12月1日 至平成24年2月29日	自平成24年12月1日 至平成25年2月28日	自平成23年12月1日 至平成24年11月30日
売上高(千円)	5,214,890	4,650,035	19,624,950
経常利益(千円)	190,374	246,611	583,193
四半期(当期)純利益(千円)	91,446	165,846	273,660
四半期包括利益又は包括利益(千円)	164,087	336,613	426,295
純資産額(千円)	4,409,528	4,956,297	4,676,780
総資産額(千円)	16,828,259	17,640,587	17,385,441
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	16.02	29.05	47.93
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	26.2	28.1	26.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策による株価の上昇や円安基調を背景に輸出企業を中心に景気回復への期待感が高まったものの、实体经济への影響はこれからの段階であり依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高46億5,003万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益は1億3,271万円（前年同四半期比20.3%減）、経常利益は2億4,661万円（前年同四半期比29.5%増）、四半期純利益は1億6,584万円（前年同四半期比81.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔自動車部品事業〕

エコカー購入支援政策の終了に伴い生産量が減少した結果、当事業の売上高は30億3,182万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

#### 〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は5億7,353万円（前年同四半期比27.7%減）となりました。

#### 〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けを含む自動化システムが好調に推移しましたが、当事業の売上高は7億4,797万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

#### 〔モータースポーツ事業〕

イベントでの集客強化を図った結果、当事業の売上高は2億3,825万円となりました。

#### 〔その他の事業〕

新規得意先に対する受注活動を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は5,844万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は1,287万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成25年4月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年12月1日～ 平成25年2月28日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 5,700	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,709,000	57,040	-
単元未満株式	普通株式 720	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,040	-

（注）証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式（その他）欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
アスカ㈱	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,700	-	5,700	0.10
計	-	5,700	-	5,700	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,391,970	1,227,390
受取手形及び売掛金	2,810,848	3,003,846
商品及び製品	108,251	130,322
仕掛品	981,512	811,390
原材料及び貯蔵品	261,725	265,999
その他	790,797	646,370
流動資産合計	6,345,105	6,085,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,991,313	2,938,610
機械装置及び運搬具(純額)	1,502,203	1,432,779
土地	3,901,631	3,901,631
その他(純額)	613,375	1,059,448
有形固定資産合計	9,008,522	9,332,469
無形固定資産	18,671	16,967
投資その他の資産		
投資有価証券	1,131,683	1,319,505
その他	881,457	886,324
投資その他の資産合計	2,013,141	2,205,830
固定資産合計	11,040,335	11,555,267
資産合計	17,385,441	17,640,587
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913,249	1,948,399
短期借入金	1,650,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,908,828	2,090,916
未払金	1,671,383	1,263,103
未払法人税等	48,197	77,537
賞与引当金	14,432	116,832
その他	686,483	430,708
流動負債合計	7,892,574	7,527,498
固定負債		
長期借入金	3,891,597	4,195,078
退職給付引当金	563,600	597,344
役員退職慰労引当金	245,790	250,915
その他	115,098	113,451
固定負債合計	4,816,086	5,156,790
負債合計	12,708,660	12,684,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,732,669	2,841,419
自己株式	3,505	3,505
株主資本合計	4,534,562	4,643,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,334	281,332
為替換算調整勘定	3,808	26,435
その他の包括利益累計額合計	137,143	307,767
少数株主持分	5,074	5,217
純資産合計	4,676,780	4,956,297
負債純資産合計	17,385,441	17,640,587



( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	5,214,890	4,650,035
売上原価	4,744,804	4,176,078
売上総利益	470,086	473,957
販売費及び一般管理費	303,570	341,245
営業利益	166,515	132,712
営業外収益		
受取利息	612	2,495
受取配当金	8,063	8,284
為替差益	4,888	73,169
その他	23,375	43,086
営業外収益合計	36,939	127,036
営業外費用		
支払利息	12,863	13,017
その他	216	119
営業外費用合計	13,080	13,136
経常利益	190,374	246,611
税金等調整前四半期純利益	190,374	246,611
法人税、住民税及び事業税	9,975	90,068
法人税等調整額	88,952	9,263
法人税等合計	98,927	80,804
少数株主損益調整前四半期純利益	91,446	165,807
少数株主損失( )	-	39
四半期純利益	91,446	165,846

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,446	165,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,641	147,997
為替換算調整勘定	-	22,809
その他の包括利益合計	72,641	170,806
四半期包括利益	164,087	336,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,087	336,431
少数株主に係る四半期包括利益	-	182

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産のうち定率法を採用するものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
減価償却費	181,247千円	199,967千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月21日 定時株主総会	普通株式	17,129	3	平成23年11月30日	平成24年2月22日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	57,096	10	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	3,592,455	792,825	768,446	61,162	5,214,890	-	5,214,890
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	12,394	73,989	646	87,188	87,188	-
計	3,592,613	805,219	842,436	61,808	5,302,079	87,188	5,214,890
セグメント利益	32,693	85,980	31,991	14,815	165,480	1,035	166,515

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材教育及び研修事業であります。
2. セグメント利益の調整額1,035千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業 (注)1	その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
売上高								
外部顧客への売上高	3,031,822	573,535	747,976	238,256	58,444	4,650,035	-	4,650,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	2,112	522	-	806	3,470	3,470	-
計	3,031,850	575,647	748,499	238,256	59,251	4,653,506	3,470	4,650,035
セグメント利益	421	14,031	36,110	62,684	15,924	129,172	3,540	132,712

- (注)1. モータースポーツ事業の期間は平成24年9月1日から平成24年11月30日までであります。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材教育及び研修事業であります。
3. セグメント利益の調整額3,540千円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 2 月29日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年12月 1 日 至 平成25年 2 月28日 )
1 株当たり四半期純利益金額	16円02銭	29円05銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	91,446	165,846
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	91,446	165,846
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	5,709,684	5,709,684

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 4月10日

アスカ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

水野 裕之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

後藤 隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の平成25年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。